



## 視察報告会を開催

令和2年1月17日に視察報告会を開催しました。厚生委員会、文教委員会、経済建設委員会、企画総務委員会が、11月に行った先進地の視察の概要や西尾市への提言など、各委員会の担当議員が報告しました。視察の概要は20、21ページをご覧ください。

## 12月定例会では、人事案件、条例の改正、補正予算などを審議 1月臨時会では、契約案件を審議

- 12月定例会を令和元年11月29日から12月19日まで21日間の会期で開催し、人事案件、条例の制定・改正、市道路線の認定、補正予算など諮問1件、議案33件、委員会提出議案1件及び陳情7件を審議しました。  
12月2日、3日、4日に14人の議員が、市政について一般質問を行いました。
- 令和2年1月20日に臨時会を開催し、工事請負契約案件を審議しました。



市民クラブ  
犬飼 勝博



### 安全で安心して暮らせるまちづくり

**問** 自動車に装着されているセンサーが感知する情報を集め、道路状態を把握する実証実験を始めている自治体がある。本市も導入に向けて取り組むべきと考えるがどうか。

**答** 職員によるパトロールの労力や時間の抑制、道路の適切な維持管理などの効果が見込まれるため、実証実験の効果を検討の上、導入による効果などについて前向きに調査・研究していく。

**問** 自動車のアクセルとブレーキの踏み間違い防止装置の取り付け費用を補助する制度は、高齢者を中心としたブレーキの踏み間違いによる交通事故防止に有効であり、導入するべきと考えるがどうか。

**答** 後付けの急発進等抑制装置について、国が近々安全基準を出すと同っている。その動向を見極めた上で、安全運転支援装置の設置費補助について、来年度当初の実施を目指して制度化を図っていきたく考えている。

### 中小企業の支援策を

**問** 中小企業の支援に向けて、西尾商工会議所等と連携し、ビジネスサポ

トセンターの開設に向けた前向きな検討が必要と考えるがどうか。  
**答** 先進事例である岡崎市の活動を参考に、本市にあったビジネスサポートセンターの導入について、前向きに検討していく。

### 児童クラブの開所・終了時刻拡充を

**問** 本市と近隣市の児童クラブで、学校が休みの日の開所・終了時刻は、

**答** 西三河9市では、開所時刻は午前7時30分が8市、午前7時45分が西尾市の1市。終了時刻は18時30分が西尾市を含む2市、19時が7市。



**問** 就労する保護者の働きやすい環境づくりに向けて、学校が休みの日の児童クラブの開所時刻を近隣市と同じ午前7時30分の開所にする必要があると考えるがどうか。  
**答** 今後、利用実態や保護者の方の意向を確認するためのアンケート結果と職員の状況にもよるが、現段階では拠点式で、午前7時30分からの開所を検討していく。

**問** 終了時刻を近隣市と同じ19時にする必要があると考えるがどうか。

**答** 今後、利用実態や利用者ニーズを把握し、状況に応じて職員の確保に努め、保護者の方に安心して児童クラブを利用していただけるよう努めていく。



公明党西尾市議員  
大塚久美子



**持続可能な開発目標SDGsの推進**

**問** 国は第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けて、SDGsを原動力とした地方創生を新たな視点として明記したが、本市はどのように取り組んでいくか。

**答** 令和2年度策定予定の第2期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略にSDGsの視点も取り入れていくことにより、SDGsの推進とともに地方創生のさらなる実現につなげたい。

**問** 環境部におけるSDGsの取り組みはどうか。

**答** 環境基本計画や地球温暖化対策に係る計画、廃棄物に係る計画、それら計画を策定・検討する際には、SDGsの理念である持続可能な開発目標を尊重した環境施策の実現を目指していきたい。

**自転車保険と認知症等個人賠償責任保険の加入促進を**

**問** 本市の中学校の生徒の自転車通学者は何人か。また、自転車通学者は自転車保険に加入をしているか。

**答** 中学校の生徒4978人のうち、約8割の3966人が自転車通学をし

ている。また、自転車保険の加入状況までは把握していない。

**問** 2017年12月に自転車活用推進法が公布され、自転車保険加入の義務化や推進を求める条例を制定した自治体があるが、本市はどのように考えているか。

**答** 近年、自転車事故で相手方を死傷させた場合に高額な損害賠償を命じる判決が相次いでいることから、自転車保険加入の義務化や促進を求める条例を制定する自治体がある。市としても自転車保険の加入を促進していく必要があると考えている。

**問** 認知症等個人賠償責任保険事業に取り組まないか。

**答** 今のところ考えていない。

**安心して子どもを産み育てられる環境づくり**

**問** 産後うつ病の質問票によるスクリーニングの結果で、支援が必要な人ほどのくらいか。

**答** 産後うつ状態の可能性が高い人は全体の4・2%である。

**問** 産後ケア事業の必要性が高まっているが、実施する予定はあるか。

**答** 令和2年4月から産後ケア事業を実施していく予定で準備を進めている。



至誠クラブ  
磯部 雅弘



**暴力のないまち「西尾市」を目指して**

**問** 今年度の要保護児童等相談件数と近年の傾向は。虐待の種類別の割合は。

**答** 10月末現在における新規相談は虐待等16件、DV18件、その他112件で近年の推移は増加傾向にある。種類別の割合は、身体的虐待44・4%、心理的虐待33・3%、ネグレクト14%、性的虐待8・3%である。

**問** 子ども家庭総合支援拠点の強化をどう考えるか。

**答** 「子ども家庭総合支援拠点」の開設を令和4年度を目標としている。業務内容は現行と変わらないが、職員配置等で専門職の配置が義務付けられた。本市の配置職員の類型は中規模型となり、最低人員として常時、子ども家庭支援員3名、心理担当支援員1名、虐待対応支援員2名の計6名が必要であり、現在は満たしていない。今後は同支援拠点の設置に向けて、専門職を配置し、支援の強化を図りたい。



**問** 今年度のDV相談の件数は。また本市の体制はどうか。

**答** DV相談の件数は10月末までに18件であり、家庭児童支援課の要保護担当6名で対応している。

**問** 市職員のパワーハラスメントが起きない環境づくり等への取り組みは。

**答** ハラスメントの防止等に関する要綱を定め、その防止に努めている。ハラスメントに関する苦情相談窓口としては、電話相談とウェブ相談を外部委託して、職員以外の臨床心理士などの専門知識を有する第三者に相談しやすい体制である。

**問** 職員が直接相談できる顧問弁護士を配置した先進的な取り組みをしないか。

**答** 市政運営上発生する問題等について、円滑な運営を図るために、顧問弁護士と契約し相談に対応している。それにより、現体制で解決策を見出せる状況にある。

**問** 教育現場ではどのようなか。

**答** 教育現場では、管理職や上司、同僚と相談できる信頼関係や職場環境をつくるのが重要と考える。しかしながら、それだけでは解決が難しいケースも想定される。そこで、専門的な立場から相談に乗ることのできるスクールロイヤーの配置について調査研究をしていく。



市民クラブ  
鈴木 正章



**危機管理の現状について**

**問** 平成27年に改正された水防法での管理河川別雨量基準の変更内容は。

**答** 市内7河川の基準は、30年、50年150年に1回程度の各降雨量が、千年に1回の降雨量に変更された。

**問** 改正された水防法の新基準での洪水ハザードマップ策定の見込みは。

**答** 未策定の県管理2河川について今年度中に策定される予定であるため、来年度洪水ハザードマップを更新する。

**問** 新たに高潮浸水想定区域の指定が規定されたが、本市の対応は。

**答** 県の令和3年4月をめどとする高潮浸水想定区域の指定を待って、速やかに高潮ハザードマップを作成する。

**問** 本市のため池の防災対策は。

**答** 市が管理するため池は74か所、うち防災重点ため池29か所はハザードマップを作成済み、指針見直しで新たに17か所を重点ため池に追加し、令和3年度中にハザードマップを作成予定。

**問** 本市の水道施設の洪水対策は。

**答** 本市の現行洪水ハザードマップの

浸水深では、被害は出ない状況である。

**問** 本市の下水道処理施設の洪水対策は。

**答** 雨水排水施設として20処理場があり、浸水による被害は出ない。汚水処理施設は、8施設が浸水被害のおそれがあり、浸水深の浅い処理場については対策を検討する。

**教育施設における当面の課題**

**問** 市内35校の耐用年数を80年と想定した残余年数別（5年刻み）学校数は。

**答** 残余年数25年から29年が9校、30年から34年が10校、35年から39年が11校、40年から44年が5校である。

**問** 小・中学校の建て替えコストの近隣市の事例は。

**答** 小学校22教室で20億円、中学校19教室で30億円となっている。

**広域ごみ処理施設計画**

**問** 広域ごみ処理施設の本年度の予定と次年度以降のスケジュールは。

**答** 本年度3首長（西尾市、岡崎市、幸田町）会議で立地場所を選定し、次年度より計画策定、調査業務、令和7年頃から設計、工事を行い、令和12年稼働を目指す。

**問** 新施設に対応する専門部署設置は。

**答** 3首長会議での立地場所選定後に検討する。



市民クラブ  
永山 英人



**幡豆地区のデマンド型乗合タクシー「いこまいかー」**

**問** 「いこまいかー」の利用状況は。

**答** 幡豆地区の利用状況は、平成30年度実績で延べ36人。

**問** デマンド型乗合タクシー「いこまいかー」の運営に関する収支の状況は。

**答** 市全体の運行経費が194万円、運行収入等が78万円で、収支差額の116万円を委託料として運行事業所に支払っている。利用者一人当たりの市負担額は731円である。

**問** 吉良地区では、駅周辺の商業施設や医療機関などへ行くこともできるが幡豆地区はこれからのような施策が予定されているか。

**答** 幡豆地区公共交通協議会が吉良地区と同様に拡大する方針が示された。本年度末か来年度早々に運行開始できるような進めている。



協議会では、地域が主体となって公共交通の見直しを協議している

**増え続ける空き家問題**

**問** 本市の空き家戸数と空き家率の推移とその分析は。

**答** 平成20年は5220戸で10%、25年は8390戸で14%、30年は7320戸で11%。統計調査では減少しているが、相談件数はわずかに増加している。相談は、管理不全のため周囲の生活環境への影響が予測される状態の空き家である。管理不全の理由は、相続トラブルによる相続人の管理意識の低下、除去による住宅用地への税負担軽減措置の除外、市街化調整区域に立地する空き家が多いなどが考えられる。

**問** 将来、特定空き家に移行すると見込まれる空き家について、町内会の協力を得て実態を把握しているが推移は。

**答** 町内会からの相談は、平成28年は29件、29年は30件、30年は37件。

**問** 特定空き家への対応は。

**答** 現在、特定空き家に認定している空き家はない。所有者自らが空き家に対する認識を深めていただき、適正管理につながるよう引き続き努めていく。

**問** 本市における空き家の活用事例は。

**答** 活用事例はない。愛知県宅地建物取引協会と連携した「空き家バンク」の開設に着手しており、できる限り早い段階での設置を目指している。



公明党西尾市議員  
大河内博之



**発達障害児に対する取り組み**

**問** 発達障害児の相談支援事業所はどこか。また、事業所における相談件数の推移はどうか。

**答** 西尾市社会福祉協議会、相談支援センター「あると」、障害児相談支援事業所「しるばら」の3か所。相談件数は、平成28年度が531件、平成29年度が798件、平成30年度が936件で、3年間で大きく増加している。

**問** 保育園・幼稚園、小・中・義務教育学校における発達障害児の対応はどうか。

**答** 障害児保育は、子どもの状態によって、園児2人に対して1名または4人に対して1名の加配保育士を配置している。重度障害又は集団保育になじまず、保育園、幼稚園の環境に適さない場合は、白ばら園での療育を紹介。小・中学校では、本人・保護者の意見を尊重し、特別支援学校や特別支援学級、通常学級への就学先を決定している。

**問** 発達障害に関する相談窓口の一元化を考えたか。

**答** 発達障害を持っていると思われる

子どもが増加傾向にあることから、今後は、先進事例を参考に調査研究していく。

**食品ロスとごみの有効利用の取り組み**

**問** 本市の食品ロスに対する取り組みはどうか。

**答** 広報にしおと市のホームページに現状と削減取り組みについて掲載した。また、「家庭ごみの分け方出し方ガイドブック」にも掲載し、全戸配布した。

**問** 保育園・幼稚園、小・中・義務教育学校の給食での食品ロスに対する取り組みはどうか。

**答** 保育園・幼稚園では、食育計画を立て、日々の保育の中で野菜づくり、絵本・紙芝居の読み聞かせ、体を使って遊ぶなどの体験を通して食育を進めている。小・中・義務教育学校では、担任や栄養教諭などが、食に関する授業や給食時間における指導の中で取り上げている。また、児童生徒の委員会活動で、食品ロスに関する調査や残菜を減らす取り組みをしている。

**問** 岡崎西尾地域ごみ処理施設建設において、生ごみを有効利用する施設としていくように考えているか。

**答** 岡崎西尾地域広域化ブロック会議の協議では、広域処理を行っていく品目となっているので、本市として研究すべき課題と考えている。



市民クラブ  
松井晋一郎



**住みよいまちづくりに向けて**

**問** 育休を取りやすい環境づくりをさらに推進するために、企業等に対して行ったPR、成果は。

**答** 県やハローワークと共催し、企業経営者等を対象にセミナーを開催。成果としては、雇用保険の育児休業給付人数の月平均は平成26年度が181人、平成30年度が約44%増の約260人となった。

**問** 65歳以上を対象とした公共施設等を活用した「集いの場」を積極的ににつくっていく考えは。

**答** 来年度から健康マージャンなどを開催する常設サロンの設置を検討。

**問** 常設サロンの実施主体、設置場所開催頻度は。

**答** 社会福祉協議会が実施主体となり総合福祉センター、一色老人福祉センターの2か所に設置予定。月曜日から金曜日までの平日に健康マージャンをはじめ、脳や体を使って楽しめる内容を検討中。

**問** 市内介護事業所および福祉事業所との情報共有は。

**答** 本年度から集団指導として、介護保険事業所連絡調整会議を年1回開催予定。介護保険制度の改正などの情報共有に努める。

**問** 防災対策として、要配慮者のうち災害発生時の避難等に特に支援を要する避難行動要支援者への支援や課題は。

**答** 本年度、災害時避難行動要支援個別計画の策定を進めている。支援については共助が重要と考えるが、地域に温度差があり有効な体制づくりが課題。

**問** 学校体育館に避難する場合、トイレの問題がある。男女別、洋式化など改修が必要と考えるがどうか。

**答** 校舎内トイレの改修を優先し、完了次第、屋外トイレを含め改修を進めていきたい。

**問** アサリ漁業復興事業の進捗は。また、効果や課題は。

**答** 漁場への種苗放流や干潟・藻場の維持管理、ウミグモの捕獲駆除や砂の移動防止のためのFRPポールの設置矢作川浄化センターからの栄養塩の放流などを実施。ウミグモの駆除数は昨年比約9割減少。引き続きアサリ資源回復に向けた取り組みを進めていく。

**問** アサリ資源回復に向け、補正予算対応など、柔軟な支援体制の考え方に変わりはあるか。

**答** 支援体制の考え方に変わりはない。



無所属  
鈴木 規子



**認知症や障がい者の家族介護への支援**

**問** 認知症高齢者は施設入所も困難になっている。介護する家族のため、さらなる支援策が必要ではないか。

**答** なれない介護で身体的・精神的に負担が大きい。個別相談や家族交流会を実施しているが、来年度分かりやすい「認知症Q&A」も作成していく。

**問** 市民病院の認知症認定看護師にも医療面から関わってもらえないか。

**答** 専門的な観点からの介護サービスの提供と介在が期待され、重要である。

**問** 福井県では、90代の両親と70代の夫3人の介護疲れで殺人に及んだ事件があった。こうしたダブルケアでは支援体制の連携が不可欠と思うがどうか。

**答** 今ある制度を拡充していく。個別のケースを検討して連携する包括支援センターの連絡会議を始めしていく。

**問** 小中学校の子どもたちにも高齢者や障がいのある家族を介護し、学業を犠牲にする例もある。本市ではどうか。

**答** 調査は行っていないが、事例はある。しかし今、家庭訪問もままならない状況で家庭の把握はしにくい。

**問** 保育園の入園選考では家族状況を把握しており親の疾病等は77件と大きく連携すれば把握できるのではないか。

**答** 小一問題もあり保育園とは連携がある。さらに調整を密に対応していく。

**矢作古川など氾濫のおそれはないか**

**問** 台風19号では各地に甚大な被害が出たが矢作古川は大丈夫か。氾濫対策はどのようか。

**答** 矢作古川は東海豪雨時の最大雨量毎秒590立方メートルだったが、矢作川分派堰が完成して以降、流量が200立方メートルまでに制御された。当時は堤防の路肩で手が洗えるまで水が来ていたが3分の1に軽減され安全度は格段に高まった。

**問** 小中河川対策、ハザードマップの見直し時期はどのようか。

**答** 朝鮮川、広田川、安藤川など雨量増で見直ししており、来年度できるだけ早い時期に浸水想定区を公表したい。

**問** 洪水ハザードマップでは、矢作川氾濫時には中央体育館が50cm未満、花の木50cm以上3m未満の浸水想定とある。市街地の高層建築物にも避難できるよう市からも働きかけはないか。

**答** 2階などへの垂直避難が重要だが自主防災会や個人で依頼しにくい場合は、市も一緒にアウトクなど考えたい。



日本共産党西尾市議員  
前田 修



**自立を促す収納対策  
国保の資格証の発行中止を**

**問** 税の滞納処理を移管していた愛知県内の滞納整理機構では、借金しても払え「子どもの高校通学をやめさせて払え」など強権的な取り立てをしてきた。今後、「機構」の廃止に伴い全ての収納対策を市が行うことになるが、同様の強権的徴収をするのか。

**答** そのような事実があるとしたら適切ではない。市が行うことはない。

**問** 本市には滞納整理事務基準や取扱要綱がない。適正・公平な扱いをするために作成すべきだがどうか。

**答** マニュアルはないので研究したい。

**問** 滋賀県野洲市は「くらし支え合い条例」を制定し、滞納者への督促の際に納税相談の案内を同封するなど丁寧な対応をしている。実施しないか。

**答** 滞納者へどのように相談案内を届けるか検討する中で、野洲市の条例も研究していきたい。

**問** 本市は、国保税の滞納に伴う資格証明書(医療費全額を一旦支払)の発行件数が多い。国は「機械的に発行しない」「特別の事情を勘案すべき」として

様々な基準を設けている。ルール通りに行くと厳密な調査のため膨大な事務量が求められるため「資格証発行より滞納者への相談や対応にこそ力を注ぎたい」として、資格証を発行しない自治体が増えている。十分な面談ができないからと発行すべきではないと思うか。

**答** 法に基づいて適正にやっている。(指摘された事は)よく勉強したい。

**PFI方式は民間仕様か**

**問** 公共施設は、施設の寿命や安全対策のため「公共仕様」で建設される。しかし、吉良支所棟は、建物は公共仕様だが、空調・電気・給排水設備は民間仕様となっているがどうか。

**答** 契約前の業者との個別対話で、民間仕様で良いと回答している。

**問** 記録では「民間仕様で設計を進めている」とのSPCCの発言に、市は一言の意見もない。SPCCの言いなりか、前市長への忖度かと言わざるを得ない。今後建設されるアリーナ棟は公共仕様か。

**答** 今のところ民間仕様で良いとしているが、設計に入る前に、公共仕様で行うよう要求したい。

**旧一色支所の仮囲いの撤去を**

**問** 旧一色支所の仮囲いを撤去し、適切な防犯対策をしないか。

**答** 仮囲いをPFI事業から外す(市が直接行う)ことについて、民事調停で協議を進めている。



至誠クラブ  
黒辺 一彦



公共交通の充実に向けて

**問** 来年度から再編される6万石くるりんバスの運行時間の検討、バス停の整備の取り組みはどのようなか。

**答** 運行時間は廃線となる名鉄東部交通バスの寺津線、平坂・中畑線に限り早朝と夜間の運行を予定している。バス停は住宅地から300メートル以内を目安に設置する。乗客者の多いバス停には両よけや待合所の設置を検討していく。

**問** 運賃支払い方法のキャッシュレス化を進めないか。

**答** 交通系ICカードは多額の整備費が必要となるため、安価に導入が可能ならバーコード決済を検討していく。

**問** デマンド型乗合タクシー「いこまいかー」の利便性向上のために、サービスを拡充しないか。

**答** 西尾地区は現在、自宅から一番近くの公共交通駅、バス停までが運行条件となっているが、今後は各地区の拠点となる公民館や商業施設まで乗車できるように検討をしている。

**問** 免許証返納者への配慮はどのようなか。

免許証返納者への配慮はどのようなか。

**答** 現在、免許証を自主返納された満75歳以上の方に、コミュニティバスの割引乗車証を交付している。現在の交付期間3年を令和2年度からは5年に延長する。

スポーツ振興に向けて

**問** スポーツ施設の充実に向けて、現状の施設の整備、管理状況はどのようなか。また、改善の検討はどのようなか。

**答** 長寿命化の修繕を行い、市民ニーズを満たせるよう計画的な整備を進める。草刈りについては、大会前など関係団体と連携を図り環境整備に努める。

**問** 「シビックプライドの醸成につながる、トップアスリートへの奨学金制度を検討しないか。

**答** 奨学金制度については、今のところは考えていないが、子どもたちの夢を金銭面に限らず育成面も含めて手助けできるようスポーツ協会と連携して方策を調査・研究していく。

**問** 総合運動場の整備計画を検討しないか。

**答** 平成30年度にスポーツ団体から全体の整備にこだわらず、できるものから整備を進めて欲しいとの声が寄せられている。30年後の将来を思い描きながら計画づくりを来年度から進めていく。



至誠クラブ  
藤井 基夫



産廃問題の経過と現状

**問** 平成30年1月に株式会社KEC、三河開発株式会社から「処分場跡地に係る経緯と経過」という文書が郵送されてきたが、市にも郵送されたか。また、どの関係者まで郵送されたのか把握しているか。

**答** 平成30年1月に市長あてに郵送されてきた。把握している郵送先は、全員に確認していないが、市議会議員や市内漁業組合、三河湾沿岸の環境・生活・産業を守る会・関係者、新規産廃処分場建設計画影響調査研究会委員、そして報道機関に送付されている。

**問** 「処分場跡地に係る経緯と経過」によると神原前市長と神谷元副市長はこの問題に前向きであるような内容であったが、事実はどのようなか。

**答** 業者とは平成24年度から25年度にかけて、勉強会や話し合いを行ったのは事実。過去の一般質問で「新規産廃処分場も産廃問題解決の選択肢の一つ」と答弁してきた。一方、神原前市長は「新しい産廃施設をはじめよう」と言ったことはない、神谷元副市長は「西尾市はゴーサインを出しているわけではない」との答弁したのも事実。平成29

年3月定例会の施政方針で神原前市長が「新しい産廃廃棄物最終処分場を建設する必要はない」と答弁していることから、「新規産廃処分場ありき」の考えはないと思われる。

**問** このような文書を複数の人に送り返す業者についてどのように思うか。

**答** 業者と市の話し合い以外にも、時折々の場面で発言された人たちの氏名や発言内容など、多くの個人情報を含む文書を複数の人に送っていること自体、信頼性を疑う業者、会社としての信頼を損なう業者だと考えている。

**問** 産廃計画地の中にある市道を含む市有地の売却について、市長の思いはどのようなか。

**答** 平成26年6月定例会の一般質問で「市有地等の買収の話が、仮にあったとしても買収に応じる考えはない」と答弁しているが、現状においても当時の答弁と変わりはない。

**問** 現在、産廃業者が現地において各種環境要素の現況調査を実施しているか確認しているか。また、現在の業者の動きはあるか。

**答** 現状、実地調査は行われていないと推測している。市に対して直接的な動きはないが、水面下で動いているとの情報は入っている。



日本共産党尾西市議員  
牧野 次郎



市民に信頼される市民病院に

**問** 病院経営悪化の要因は。

**答** 経営悪化の要因は、医師不足が非常に大きく、そのほかに国の医療費抑制施策、他院との競合などによる患者数の減による。

**問** 患者満足度調査などの結果は。

**答** 昨年度の調査での主な評価は、「知人に当院を薦めるか」との問いに、「薦めたい」「どちらともいえない」が半々。総合的な評価点は84.7%で近隣病院と同様の高い評価と思う。しかし、患者満足度調査の方法は、現在の抽出方式を患者全員を対象に改めていきたい。

**問** 市民から信頼される病院への取り組みは。

**答** 医師不足で診療制限している泌尿器科、産婦人科などの常勤医師を確保し、急性期・回復期医療を安定的に提供していく。

ひきこもり状態にある方々の支援

**問** ひきこもりの認識と実態調査を。

**答** ひきこもりになる背景は様々で、ひきこもりというだけの枠組みでは捉えきれない。実態調査は難しく、保健

所や地域包括支援センターなどの情報提供で把握したい。

**問** ひきこもり状態の方や家族への支援は。

**答** 保健所と連携し支援につなげ、就労支援NPOの紹介、生活保護の申請につなげる等あるが、具体的支援にはつながっていない。

**問** 相談窓口体制はどのようなか。

**答** 体制の整備は必要であり、ひきこもりの専門窓口ではないが、関連する所管課と連携して総合的な相談窓口設置を進めている。

様々な市民要望に心えて

**問** 子どものインフルエンザ予防接種に助成を。

**答** 公費助成は、原則、定期予防接種のみ対象で、助成をする予定はない。

**問** 民間住宅借り上げ公営住宅制度を。

**答** 住宅セーフティネット推進検討会議の結果で、制度実施を検討する。

**問** 一斉の防犯灯LED化は。

**答** 町内会にとってもより良い事業となるよう、できるだけ早期に実施する。

**問** みどり川散策路整備事業の推進を。

**答** 三条橋から緑橋まで整備され、その上流部は休止していたが、整備手法を検討して事業を再開する。



真誠会  
中村 眞一



さら市民交流センター(仮称)支所棟の改修工事について

**問** 市と矢作建設工業が、設計契約を解除するという事態となったが、その後の状況はどうなっているのか。

**答** 10月28日以降、矢作建設工業からの連絡はない。

**問** 矢作建設工業からの連絡はないということだが、市も代理人も連絡はしていないのか。

**答** 市は代理人を通じて行っており、今日現在、やりとりについては報告を受けていない。

**問** 解除通知を出してから1か月も違約金の請求をしていないが、これは単なる怠慢なのか、それとも請求できなかったのか。

**答** 違約金については、早急に対応したいと考えている。

**問** ペナルティーは損害補償だけでなく、再発防止という目的もあるため、このような重要な事業を1か月以上もほったらかしにしている現状をどう考えているのか。市長は請求について指示をしたのか。

**答** 書面が来るのを待っている状況で結果として期日がたってしまった。指示はしていない。

**問** 契約主体は教育委員会と思うが、教育委員会はどのように関わっていたのか。

**答** 見直し、契約は資産経営局の方で行っており、随意契約については教育委員会の方で締結をしているが、書類作成等々は資産経営局の指示に従って行った。

見通しの立たないPFI事業見直しの経緯と今後について

**問** 増加費用の民事訴訟と市が申し立てた民事調停は、いづれも結論が出るのか。

**答** 増加費用は、12月6日に終結の予定。その後、裁判所が双方の主張を整理し判決を決定する手続に入る。民事調停は、終結のめどは立っていない。

**問** 裁判所の和解案は、支払いの根拠があつてのことと思うが、議会に説明もなく和解案を蹴ってしまったが、支払わない理由と再度和解の基準は。

**答** 和解勧告は、細かい積み上げの結果ではなく、金額的にどうかというケースが多く、弁護士にも意見を伺った結果である。今回も市の代理人の弁護士と検討した結果、さらに審議を進めるといった結論になった。



至誠クラブ  
神谷 雅章



**マイナンバー制度の今後の活用**

**問** マイナンバー制度を活用した市民へのサービス・利便性は何か。

**答** コンビニ交付サービスにより早朝夜間等の閉庁時の証明書の交付が可能。

**問** 「健康保険証機能を持つことにより」のような効果があるか。

**答** 保険証がなくてもマイナンバーカードの提示により受診できる。

**駿馬・瀬戸地区への工場進出に伴う地域のまちづくりについて**

**問** 渋滞が予測される県道西尾吉良線の整備を今後どのように検討するのか。

**答** 地域住民の生活に悪影響を及ぼさないよう有効な対策を検討する。

**問** 国道23号須美インターからグリーンロードへの接続について再度検討しないか。

**答** 有効な路線の一つとして考えているので、今後検討する。

**問** アイシン高丘工場入口の右折車両による渋滞緩和策は何か。

**答** 歩道整備にあわせ右折帯設置などの道路改良計画を県に要望していく。

**問** 関連企業の進出も期待する中、グリーンロード周辺の工場用地確保は。

**答** 都市計画マスタープランの改定にあわせ、開発の適否を検討する。

**問** 関係車両の増加も視野に入れ、グリーンロードの整備を検討しないか。

**答** 交通量の変化などを把握し検討する。

**問** 上横須賀駅移転も視野に入れた新たなまちづくりを検討しないか。

**答** 交通インフラ整備や公共施設、住宅用地の必要性を研究し、都市計画マスタープラン改定の必要性を検証する。

**問** 工場竣工までに必要な施策は。

**答** 道路、公共交通、住宅基盤整備を滞りなく進め、このチャンスを生かしていくための環境整備が必要と考える。

**消防団の組織強化・活動支援は**

**問** 河川堤防の崩壊などによる浸水被害を防ぐ訓練はどのようか。

**答** 各種水防訓練に参加し、技能習得と関係機関との連携を図っている。

**問** 避難誘導訓練はどのようか。

**答** 自主防災会と連携した訓練を実施している。

**問** 詰所の活用をどう考えているか。

**答** 活動のベース基地であり、各種訓練や災害時等、円滑な活動を行う団員相互の打ち合わせ場所として認識している。

**故新家喜志男議員に対する追悼演説が行われました**

12月定例会最終日の12月19日に、現職中の12月1日にご逝去された故新家喜志男議員に対する追悼演説が行われました。所属していた至誠クラブの会長である山田慶勝議員が、市議を代表し故新家議員の誠実な人柄や功績などを述べ、哀悼の意を表されました。傍聴席には、遺影を手に追悼演説に耳を傾けるご遺族の姿がありました。



故新家議員の席に献花が供えられた議場での追悼演説

**3月定例会市議会**

**開催予定のお知らせ**

- 2月25日(火) 本 会 議  
(議案上程・施政方針演説)
- 26日(水) 本会議(代表質問)
- 27日(木) 本会議(一般質問)
- 28日(金) 本会議(一般質問)
- 3月2日(月) 本会議(予備日)
- 4日(水) 本会議(当初予算上程)
- 5日(木) 文教委員会
- 9日(月) 厚生委員会
- 10日(火) 経済建設委員会
- 12日(木) 企画総務委員会
- 23日(月) 本 会 議
- 開会時間は午前10時です。

**議会テレビ中継のお知らせ(予定)**

- 【放送日】
- 2月28日(金) (2月25日 施政方針演説)  
2月26日 代表質問
- 3月5日(木) (2月27日 一般質問)
- 3月11日(水) (2月28日 一般質問)
- 3月24日(火) (3月2日 予備日)
- 【放送チャンネル】
- ケーブルテレビ「キャッチ」
- 地上デジタル 11CH
- 【放送開始時間】
- 施政方針演説は13時からです。
- 代表・一般質問は18時からです。

**インターネットで議会を見てみよう**

西尾市議会ホームページからアクセスできます。ぜひご覧ください。



# 市政に活かす！

【視察目的】 行政視察は、西尾市政の抱える課題や今後取り組むべき施策について、先進地の事例や状況を実際に見聞して調査し、西尾市政への反映を目指して実施しています。 ◎委員長 ○副委員長

## 文教委員会

◎神谷雅章、○松井晋一郎、大塚久美子、鈴木正章、  
稲垣正明、神谷庄二、筒井 登

【日程】 令和元年11月12日、13日、14日

【視察地・テーマ】

兵庫県神戸市 保育人材確保事業

福岡県福岡市 いじめや不登校に対する取り組み

佐賀県武雄市 ICTを活用した教育

【内容】

神戸市では、保育園・幼稚園・認定こども園の概要から、保育士不足の現状、対策・取り組みについて、6項目の支援策「給与・家賃補助・保育料補助・働き方（雇用形態）・資格試験の学費補助・奨学金返還費用補助」を中心に市独自の施策を伺った。潜在保育士の復職支援とともに、新たに保育士を目指す方の支援について参考にしていきたい。

福岡市では、いじめ・不登校問題について、スマートフォン等のアプリケーションソフトウェア「LINE（ライン）」を活用した「福岡市いじめ LINE 相談2019」を開設した経緯や現状、課題などについて伺った。近年、複雑かつ多様化する同問題について、行政・学校・専門家（心理職など）が、若年層の多くが利用する「LINE（ライン）」を活用し、柔軟かつ迅速に支援が提供できる体制づくりについて今後参考にしていく必要がある。

武雄市では、タブレット端末（iPad）を活用した教育（ICT教育）の詳細と今後の課題等について事例をもとに、子供たちの「主体的な学びの実現」のため、「ひとり学習」を推進し、課題と学びを深める取り組みについて伺った。

ネット環境が充実している現在、新たな教育の在り方として検討していく必要がある。



タブレット端末を活用したICT教育について説明を受ける。

## 企画総務委員会

◎犬飼勝博、○松崎隆治、黒辺一彦、渡辺信行、  
鈴木武広、稲垣一夫、鈴木規子

【日程】 令和元年11月13日、14日、15日

【視察地・テーマ】

宮城県仙台市 震災を踏まえての防災対策

岩手県陸前高田市 東日本大震災の教訓等

岩手県大船渡市 教訓を活かした防災対策

【内容】

仙台市では、津波への多重防衛による減災対策として、防潮堤再整備、県道のかさ上げ、防災林再生。避難のための施設やルート確保では、避難施設（避難ビル・避難タワー）、避難道路整備。安全なすまいの確保では、危険地域の建築制限、防災集団移転等の取り組みが進められており参考となった。

陸前高田市では、震災後に「陸前高田市東日本大震災検証報告書」を作成し、避難が何より重要であることが明記され、積極的な避難に重点を置いた防災教育や訓練を実施することの重要性が示され、概要版を全宅配布して市民に周知していた。



震災の被災状況を保存している荒浜小学校跡地を視察

本市においても、被災地からの経験（避難が何より重要）を踏まえ、防災・減災の取り組みに繋げていく必要がある。

大船渡市では、震災後の防災対策として、高台への住居移転や災害危険区域の設定、地域防災計画の見直しや各種マニュアル整備、県外他自治体との災害協定の締結等の取り組みを推進していた。また、防災行政無線が電力により使用できなくなった経験から、バッテリーボックスを設置、携帯電話を活用したSNS・緊急速報メール、希望する世帯へ個別受信機の貸与等、参考となった。

本市は、南海トラフ地震の発生が危惧されており、被災地での教訓や震災後の防災対策等を参考に、地域防災計画の見直しや各種マニュアルの整備等の検討が必要である。

## 厚生委員会

◎大河内博之 ○前田 修、藤井基夫、本郷照代、  
永山英人、颯田栄作、山田慶勝、岡田隆司

【日程】 令和元年11月6日、7日、8日

【視察地・テーマ】

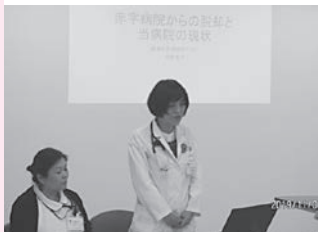
佐賀県唐津市 「市民病院きたはた」における地域  
医療連携と経営の効率化

福岡県福岡市 歯科口腔保健事業の取り組み

福岡県久留米市 認知症対策（認知症個人賠償責任  
保険）事業

【内容】

唐津市の「市民病院きたはた」は、慢性期医療に  
特化した。診療所の減少や開業医の高齢化の中で、



市民病院きたはたでは、病院長から  
直接説明を受けることができた。

地域で手薄となっている  
在宅医療を積極的に実  
施し、地域の「かかりつ  
け医」の役割に徹する  
などの取り組みで、平成  
24年度からは、黒字に  
転じた。規模も地域性も  
異なるが、西尾市としても参考にすべき点があると思  
われる。「ここの病院がどうなるかでなく、地域の医  
療がどうなるかである」とのことであった。

福岡市では、かかりつけ歯科医をもつ人を増やすこ  
とこそ重要と、歯科節目健診や歯周病予防教室など  
精力的に取り組んでおり、結果、むし歯のある割合は  
減少し、特に低年齢児に顕著であった。若年層（20  
から30歳代）の検診受診率の向上のため、35歳を対  
象とした歯科節目健診（歯周疾患検診）や18歳以上  
を対象とした歯周病予防教室も実施している。

久留米市は、認知症支援ガイドブックの作成、事故  
救済制度などを実施している。認知症と思われる高齢  
者による事故が急増する昨今であり、西尾市において  
も、認知症高齢者個人賠償責任保険や高齢者あんし  
ん登録制度など研究・検討すべきと考える。

## 経済建設委員会

◎青山 繁 ○長谷川敏廣、磯部雅弘、石川伸一、  
中村眞一、小林敏秋、牧野次郎

【日程】 令和元年11月11日、12日、13日

【視察地・テーマ】

北海道函館市 函館市地域交流まちづくりセンター

北海道七飯町 道の駅なないろ・ななえ

北海道札幌市 胆振東部地震の道路復旧  
学生への市営住宅提供事業

【内容】

函館市では、NPO サポートはこだてが管理運営し  
ている「函館市地域交流まちづくりセンター」で、同  
センターの機能や役割などについて話を伺った。主な  
活動は、情報発信、交流場所の創出、市民活動・  
NPO の支援などで、行政が直接できない取り組みを  
積極的に行っていた。

七飯町では、「道の駅なないろ・ななえ」に併設さ  
れた「THE DANSHAKU LOUNGE」は、ライブキッ  
チンやショッピングに加  
え、男爵いもの生みの  
親、川田男爵の歴史や  
近代農業を知ることが  
できる農具が壁面に展  
示されていた。町の魅  
力を最大限発揮し、多  
道の駅に併設された THE DANSHAKU  
LOUNGE で説明を受ける。  
の駅を目指すとのこと。町が道の駅にかけ熱意を強  
く感じた。



札幌市では、初めに、「胆振東部地震の道路復旧  
について」説明があったが、実際に現地で傾いた建  
物や陥没した道路を見る機会を得て、改めて地震によ  
る液状化の恐ろしさを実感。液状化地域は、谷の底  
にあたる部分を造成したところで、地下水位も高かつ  
たとのこと。西尾市においても地域ごとの液状化リス  
クをしっかりと市民に明確にしていく必要がある。次に、  
「学生への市営住宅提供事業について」話を伺った。  
住人の高齢化や空き部屋の増加（特に4・5階）し  
ている市営住宅に大学生が入居するという施策。大  
学生を取り込んだ取り組みやアイデアには驚きととも  
に大変感心した。

【視察報告会】1月17日、西尾市議会では、「視察報告会」を実施しました。報告会は、各委員会の行政視察について、議員間での情報共有及び意見交換により、その効果をさらに高め、議会全体の資質・機能向上を目指しています。

## ■12月定例会で審議され、可決した議案等

☆ 人権擁護委員に、勝良一氏を推薦することに同意しました。

★西尾市手話言語条例の制定について
★西尾市下水道事業の設置等に関する条例の制定について
★西尾市下水道事業の企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について
★西尾市部設置条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市立看護専門学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市地区計画の区域内における建築物制限条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について
★市道路線の廃止について
★市道路線の認定について
★古川緑地（岡ノ山遊ばっ茶広場）の指定管理者の指定について
★西尾市ハツ面ふれあいセンターの指定管理者の指定について
★西尾市福地ふれあいセンターの指定管理者の指定について
★西尾市米津ふれあいセンターの指定管理者の指定について
★西尾市西野町ふれあいセンターの指定管理者の指定について
★令和元年度西尾市一般会計補正予算（第5号）
★令和元年度西尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
★令和元年度西尾市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
★令和元年度西尾市介護保険特別会計補正予算（第3号）
★西尾市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の特例を定める条例の制定について
★西尾市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
★工事請負契約の変更について
★令和元年度西尾市一般会計補正予算（第6号）
★令和元年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
★令和元年度西尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
★令和元年度西尾市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）
★令和元年度西尾市介護保険特別会計補正予算（第4号）

## ■1月臨時会で審議され、可決した議案

★工事請負契約の変更について
----------------

## ■12月定例会に出された陳情書

★私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書	趣旨採択
★国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択
★愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択
★福祉保育職場の大幅な増員と賃金の引き上げの実現をめざし国に対し意見書提出を求める陳情	議長預かり
★「国による妊産婦医療費助成制度創設」を求める自治体意見書採択についての陳情書	議長預かり
★国に対して「すべての子どもによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書」の提出を求める陳情書	趣旨採択
★子育て支援など社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択
★介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択
★社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択

## ■賛否の分かれた議案

12月定例会へ提出された議案、陳情のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

「○」…賛成（採択） 「×」…反対（不採択） 「趣旨」…趣旨採択

議案名	議決結果	会派・議員名・表決態度																											
		市民クラブ								至誠クラブ						共産党		公明党		無所属									
		岡田隆司	神谷庄二	小林敏秋	稲垣正明	長谷川敏廣	颯田栄作	鈴木正章	稲垣一夫	鈴木武広	石川伸一	永山英人	松井晋一郎	渡辺信行	本郷照代	松崎隆治	青山繁	犬飼勝博	山田慶勝	筒井登	神谷雅章	磯部雅弘	藤井基夫	黒辺一彦	牧野次郎	前田修	大河内博之	大塚久美子	鈴木規子
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×
私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書	採択	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	○	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨
国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	採択	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	○	趣旨	趣旨	○	趣旨
愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	採択	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	○	趣旨	趣旨	○	趣旨
国に対して「すべての子どもによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書」の提出を求める陳情書	採択	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	○	趣旨	趣旨	○	趣旨
子育て支援など社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×
西尾市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
西尾市下水道事業の企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
社会保障の施策拡充についての陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×
西尾市部設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
西尾市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
西尾市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

議長のため表決に加わらない

### 編集室

日頃から市議会に対し、「ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。」「令和」初めての年越しを経て、心新たに充実した議会活動に邁進していく決意です。

国内外の不協和音がメディアから繰り返される昨今、政治離れはますます加速しています。他者との関わりが希薄になるなど未来への不安を訴える声を耳にするたび、今こそ小さな自治体単位で、心をひとつにしていかなければならないと強く感じます。まちづくりの一翼を担う市議会として、情報発信と多くの声を市政に届けることは、私たち市議会の重要な責務と考え、現在、議会報告会の開催について検討、調整を行っております。

今後も、市民の皆様と真摯に向き合い、力を合わせて活気ある西尾市をつくっていくるよう体制整備を進めてまいりますので、さらなるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

#### 広報委員

- ◎本郷 照代
- ◎黒辺 一彦
- 犬飼 勝博
- 磯部 雅弘
- 青山 繁
- 松崎 隆治
- 大塚久美子
- 松井晋一郎
- 前田 修
- 颯田 栄作
- (◎委員長、○副委員長)

#### 西尾市議会 広報委員会

※一般質問の記事については、質問議員から提出された原稿をもとに作成しています。

電話 5465-2182  
FAX 1-0311

■議場見学をしませんか？ 町内会や老人会の行事、ご家族、ご友人同士でお誘い合わせの上、お気軽にお越しください。詳しくは、議会事務局へ電話（Tel 65-2182）でお問い合わせください。